

TECHVAN

 Microsoft 365

リモート環境を今こそ見直す！

Teamsをもっと便利にする最強ツール

はじめに

新型コロナウイルスの影響もあり、緊急事態宣言後より、どの企業でもリモート環境の導入が一気に進みました。

Microsoft Teams（以下Teams）は、Web会議システム市場でもMicrosoft Officeと親和性のあるコラボレーションツールとして人気が高く、導入企業数は大幅に上昇しています。

しかし、Teamsを導入しとりあえず環境を整えたはいいものの、その後の運用や、リモート環境構築の使い方のみで終わり、最低限のパフォーマンスで業務を行っている企業も多いのではないのでしょうか。

本記事では、今後も最適なTeams環境を継続させるため、今こそ運用の見直しが必要と感じる方に向けて、業務品質向上をサポートするツールをご紹介します。

「Teamsを導入したけど活用できていない」「Teamsの使い勝手を良くしたい」という方はぜひ参考にしてみてください。

CONTENS

Teamsの課題

Teams ユーザーの急増	3
Teams のさまざまな機能	4
リモートワークで表面化した課題	5
Teams + α で解決	6
Teams 上で業務がすべて完結	7

各ツールの特徴

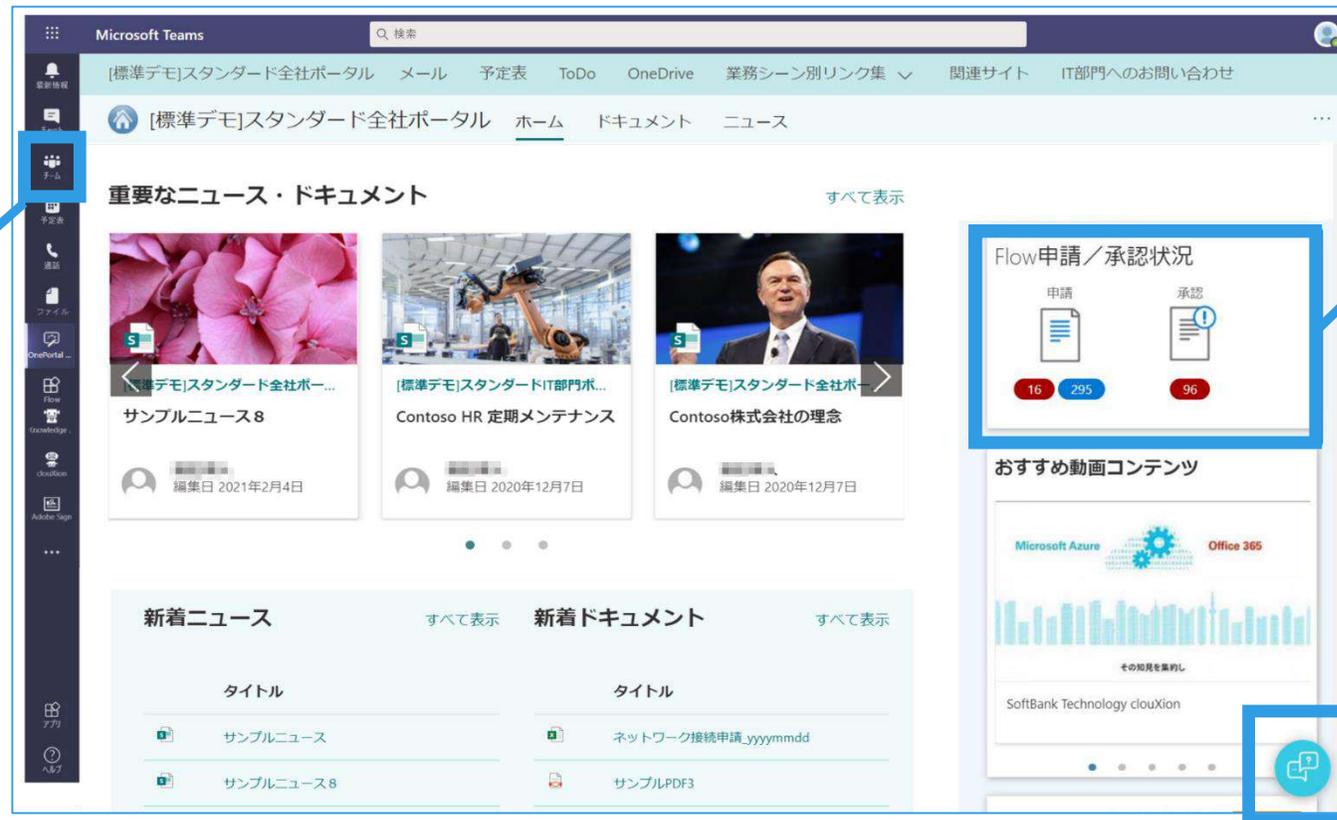
Provisioning Flow	9
Knowledge Bot	12
Flow	15
クラウドサイン for Microsoft Teams	18

Teams + α 導入効果	21
Microsoft 365 ならテクバン	22
サービスメニュー	23

Teams 上で業務がすべて完結

アドオンサービスを追加することで、Teamsをプラットフォームとして業務がすべて完結し、今よりもっとスムーズな新しいワークスタイルを実現できます。

チーム作成



電子契約



クラウドサイン
for Microsoft Teams
Powered by clouXion

Q&A



Provisioning Flowの特徴

Provisioning Flowは、SharePoint Onlineを基盤としたワークフローのためMicrosoft 365を有効活用できます。「ワークフロー×自動設定」で統制のとれたチーム作成を自動でプロビジョニング可能、効率的な運用ができます。

